

# Kagee カゲエスピーカー（アンプ内蔵型スピーカー） 使用上の注意

■ 下記の点に注意してご使用いただくことで、長く安全にお楽しみいただけます。

## ◆音がひずむ、ノイズがのる

- ・ AC アダプターや、ステレオミニケーブルがゆるみ無く奥までしっかり差し込まれているか？

iPod をケースに入った状態でご使用頂く場合、オーディオケーブルのプラグの被覆(ゴム)部分がケースに当たり、iPod のジャックに完全に差し込めていない事がございます。

この状態で異常な電圧がかかり続けると、スピーカーのコイルが破損など、故障の原因となりますのでご注意ください。

この場合、iPod 対応の、プラグの被覆部分が細い市販のステレオミニケーブル(3.5φ)をご用意下さい。詳しくは、付属の資料 (最終ページ)の「より安全に快適にお使いいただくために。」をご参照ください。

- ・ TV やラジカセにつないでいませんか？

TV やラジカセなど既にアンプが内蔵されている機器の場合は、機種によって、他のオーディオ機器との接続を前提に作られていない場合もあります。

既にアンプが内蔵されている機器をカゲエスピーカーと接続することで、故障や事故の原因になる可能性がございますのでプレイヤー専用機器との接続が最も安心です。

カゲエスピーカーはポータブルプレイヤー(iPod や CD ウォークマン)などの音響プレイヤー専用機器との接続をお薦めしています。

## ◆音が小さい

- ・ ポータブルプレイヤー(iPod や CD ウォークマン)側のボリュームを8～9割程度のボリュームまで上げていますか？

プレイヤー側のボリュームを上げ、カゲエスピーカー本体のボリュームは12時～1時の位置までを目安にご使用下さい。

## ◆その他の注意事項

- ・ AC アダプターやステレオミニケーブルの接続・取り外しは、カゲエスピーカーの電源がOFFになっている状態で行っていますか？

電源が入ったまま抜き差しをしますとバチッという音が入り、カゲエスピーカーに痛みが走り内蔵アンプやスピーカーにダメージが発生することがあります。

- ・ **以下の手順で各機器の電源を操作していただくことで、よりいきいきと元気な状態を保てます。**  
カゲエスピーカーに POP ノイズ(電源を入れるプチッという音)や不要な信号などを予防します。  
カゲエスピーカーに流れる過大な電流負荷が軽減されますので安心です。

#### <音楽を聞く時>

- ①カゲエスピーカー本体の電源が OFF で、ボリュームを左に回し切った最小位置であることを確認します。
- ②プレイヤーの電源を入れて下さい。
- ③カゲエスピーカー本体のスイッチを上上げて、ON にして下さい。
- ④徐々にボリュームを上げて、適音でお楽しみください。

#### <電源を OFF にする場合>

- ①カゲエスピーカー本体のボリュームを左に回し切った最小位置にします。
- ②カゲエスピーカー本体のスイッチを下に下げて、OFF にして下さい。
- ③プレイヤーの電源を OFF にしましょう。

- ・ **AC アダプターは、必ず付属のものをお使い下さい。**

違う電圧の AC アダプターを使用すると、アンプに負荷が掛り故障の原因となります。

- ・ **プラグを抜く際には、コード部分を引っ張らずにプラグ部を持って抜き差しして下さい。**

コード部分を引っ張ると、断線の原因となります。

- ・ **電源を OFF にしてもう一度 ON にする時は、10 秒程度の間隔を開けてから ON にして下さい。**

連続で ON / OFF を繰り返すと、故障の原因となります。

- ・ **長時間、音を鳴らしていないなどスピーカーをご使用にならない時は、電源を OFF にしてください。**

カゲエスピーカーへの負担が無くなり、長く安全にお楽しみいただけるようになります。

特に、パソコンのヘッドホン端子に接続してお使いいただく場合は、音を鳴らしていないなどスピーカーを使用しない時には、必ずボリュームをゼロにしてカゲエスピーカー本体の電源を OFF にしていただき、ステレオミニケーブルを本体から抜いておきましょう。

ジャックの放電にもなり、待機電流や DC 電圧などの流れ込みを防ぐ事ができます。

- ・ **湿度が低い季節、スイッチなどに触れる際、乾燥による帯電にご注意ください。**

スピーカーを保護するために、付属品の除電マットに触れて操作していただくとより安全です。

天候の不安定な状態が発生しやすいため、使用されない時には小まめに電源は抜いていただくか電源をスイッチで落とせる電源タップのご使用をおすすめします。

- ・ **雷にご注意ください。**

お近くで雷が発生した場合は、カゲエスピーカーのコンセントを抜いていただくか、市販の雷サージプロテクターをご利用いただきますと、雷サージの過電流を防ぐ事が出来ます。

・長期間お出かけになる時はカゲエスピーカーの AC アダプターを抜いて保管ください。

カゲエスピーカーへの負担が無くなり、長く安全にお楽しみいただけるようになります。

・各種動画の音声の再生について。

YouTube などの、自作録音のアップロードサイト等のストリーミングサービスを閲覧する際、録音状況の違いにより、コンテンツ・番組ごとに音量レベルが著しく異なる場合があります。

音量が極端に変化する可能性のある音源を鳴らす場合は、あらかじめカゲエスピーカー本体のボリュームを一番左(min)にし、徐々に適音までボリュームを上げていただき、ご注意くださいながらご愛用ください。急に大きな音が入ってしまうなど、カゲエスピーカーに掛かる負担から守ることが出来ます。

万一、異音や音が出ないなどの症状に気付いたら、すぐに本体及び接続している機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、安全を確認してからサポートセンターにご相談ください。

そのまま使用し続けると火災や感電・故障の原因となります。

お客様による修理などは危険ですので絶対におやめください。

## エムズシステムサポートセンター

取扱方法、その他製品のご案内、修理・メンテナンスサービスのご相談をお受けしています。

**TEL : 03-5542-7432**

**FAX : 03-5542-7431**

FAX専用  
ダイヤル



**0120-357-767**

**メール : support@mssystem.co.jp**

◆営業時間: 10:00 ~ 18:00 ◆定休日: 水曜日 (土・日・祝 は営業しています。)

## より安全に快適にお使いいただくために。

ご使用の音源と「ショコラ / バニラ」、「カゲエ」等のアンプ内蔵型スピーカーの接続をご確認ください。

下図のような接続になっていませんか？



※ 特に i-Pod やスマートフォン用のケースをご使用になっている方はご注意ください。

※ プラグを最後まで押し込んで、隙間が無いことを確認してください。

奥まで差し込まれておらず、隙間がある。 **NG**

弊社にて調査・検証を重ねたところ、上図のような接続のままでご使用を続けてしまうと故障の原因になる可能性があるかと推測されました。

プラグが最後までしっかりと差し込まれていることを確認して、ご使用ください。



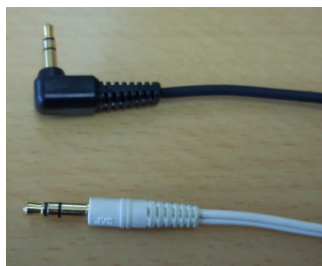
奥まで差し込まれていて、隙間がない。 **OK**

左図のように、プラグを最後まで押し込んで、隙間ができないように接続をしてください。

特に、i-Pod やスマートフォン用のケースをご使用になっている方は、ケースの厚さが影響して、プラグが最後まで差し込み難くなっている場合がございますので、ご注意ください。



ケースの厚さ分、差し込みが甘くなる可能性があります。



付属品のステレオミニケーブル

付属品のステレオミニケーブルが最後まで差し込めない場合は、市販されているステレオミニケーブルで先端が細い物に交換してください。

入手が難しい場合は

先端が細いステレオミニケーブル

**エムズシステムサポートセンター (03-5542-7432)**までご連絡ください。

・テレビやラジカセ、PCなどと接続をしていると、「ショコラ / バニラ」、「カゲエ」のスイッチが入りっぱなし、ボリュームが上がりっぱなしであることが多く、その状態でテレビなどのスイッチを切ってしまうことで、その「入、切」の際にテレビなどから出る信号がスピーカーをアタックする危険性があります。

・「ショコラ / バニラ」、「カゲエ」は元々大きな音を出すために作られていません。小さなエンクロージャーの中にスピーカーが入っていますので、大きな音を出すとスピーカーのコーン紙の振幅が大きくなり、熱がこもってしまいます。適音でお聞きください。小さな音でも、少したつと大きく感じるようになります。

意外と気づかずに、この様な方法でご使用されている場合があります。

「音がゆがむ」、「プチッ、バチッなどの音が出る」、「音が小さい」、「残響がある」等、少しでも異常を感じたら、エムズシステムサポートセンター (03-5542-7432) までお電話ください。異常な状態で、そのままご使用になられると故障の原因となります。ご注意ください。

大切な「ショコラ / バニラ」、「カゲエ」を安全に快適にお使い頂くための注意事項です。

ご使用の音源と「ショコラ / バニラ」、「カゲエ」が安全で正しく接続されているか、いま一度ご確認ください。

有限会社エムズシステム  
代表取締役 三浦 光仁